京城日報
朝刊
朝夕刊共八頁
皇紀二千六百二年 昭和十七年六月十三日（土曜日）

社説 田中總監を迎ふ

一

新任田中政務總監は、在鮮十二年間、官吏としては勿論人生普春の殆ど大半を、朝鮮に捧げた人である。新總監自ら（故郷に歸るやうな氣持だ――と、感慨を洩してをるが、全くその通りで、しかも、錦を着て歸るのである。朝鮮に、我人ともに慶賀に堪へぬ次第である。

二

新總監は各種總督の下に…の閲歷を以て迎へたのも、誠に宜なる哉といふべく、その人德と叡智が施す將來の爲政に、二千四百萬同胞の絶大なる期待がかけられてゐる。

三

朝鮮のことは何でも知り盡してゐる權威者である。しかも、華北新民會の監察部長として、或は、滿洲移住協會の常任理事として大東亞北方建設の實際運動に携つて來た上、拓務次官として、拓務行政の全般を統轄、非常に廣い範圍に亘つて、東亞共榮圏全域の知識を得てゐる。この卓越せる知識、經驗が、本來の快腕と相俟つて、半島統治の上に如何に目覺しく運用されるかも、われわれが刮目して待つところのものである。

四

率直にいへば、人生の失敗なその得意中の得意に發する。これは古今東西、皆揆を一にする…

官民協力・征戰完遂へ
不健全思想は斷乎撃滅
釜山にて田中新總監着任第一聲

【釜山にて松坂特派員發】田中新政務總監は豫定の如く十二日夕刻釜山入港の關釜連絡船興安丸で着任第一歩を釜山埠頭に印した、棧橋から大倉町にかけて堵列する官民有力者、各種團體、學校代表等の歡迎裡に釜山鐵道ホテルに入り官民有力者と接見の後、記者團を引見して左の如き聲明を發表して半島官民に一段の奮起と協力を促した

今回圖らずも政務總監を拜命し小磯總督閣下を輔佐して朝鮮施政の職に當ることとなり本部で前任者との引繼ぎを終つて只今釜山に到着いたしました、御承知の如く役人として朝鮮育ちである私としては恰も故郷に入るの思ひがあり人にも山河にも舊知己の親しみを感じながら京城に向ふ譯であります、施政の方針に關して近く總督が着任されたら公表せらるる筈であるから私としては今茲でこれらに觸るることを避けねばなりませぬ、然しながら我國が大東亞建設のために總力を擧げて征戰完遂に邁進してゐるこの時機に於て朝鮮として可能なる限りの心力、物力を國家目的に動員集中すべく政治、行政を運營するの方針を採つて行きたいと考へてをります、これがためには全般に人の和が肝要である、和には我が國不動の國體本義を基とし朝鮮統治に關する聖詔を奉戴し國民としての思想感情を一致せしむることが緊切である、偏見を固執して一致を紊し國家的道義に悖るが如きものは斷乎これを排除して大目的の完遂に向ひ邁進せねばならぬ、思想戰的意味に於ては銃後社會も亦戰場である、不健全なる思想の撃滅を期した

田中總監

いと思つてゐる、期待するところは全官民一致協力、思想戰の陣容に微塵の隙をもあらしめず、東亞指導國民としての道義心を昂揚し、…に全力を傾け明朗朝鮮、躍進半島の本領を大東亞に顯揚せんことである、半島全官民各位の協力をお願ひ致す次第であります

玉山縣城、一氣に屠る
第三戰區に今や遮る敵なし
浙贛作戰

【浙贛前線十二日同盟】江西省境突破部隊は十二日正午江西省における浙贛線の重要據點玉山縣城に突入、午後二時同城および飛行場を完全に占領した、玉山は衢州とならぶ空軍基地でありかつ敵第三戰區司令部所在地上饒（廣信）防衛の中樞基地である

【浙贛前線十二日同盟】浙江省々境を突破、江西省内に雪崩れ込んだわが北岸進撃部隊は江山山脈の峡谷を縫つて一路南下し十二日午前十一時米蔣合作空軍基地たる玉山の北方一キロの線を拔いて東西兩方面より玉山を包圍敵第四十一、第四十四の兩師の頑強なる抵抗を排除して正午遂に城内に突入し午後二時ごろ玉山城および同飛行場を完全に占領した、また南岸進撃部隊は江山攻略後北岸部隊と相呼應して江山南方十…の上台山北方山地に進出、敗敵を省境山脈に追ひ詰め猛攻を加へてゐる、かくて衢州陷落後敵が第一線防禦陣地と恃んだ江山、常山の線は遂に潰え去り浙贛線の防衞據點たる玉山南方陣地も皇軍疾風の猛攻下に潰滅しさつて、わが鋭鋒の向ふところ第三戰區は今まさに遮る敵なき狀態である

疾風！江西省境を突破

【浙贛前線十二日同盟】衢州攻略後玉山占領までのわが精鋭進撃狀況左の通り

一、玉山占領に遡く○○部隊は衢州會戰において西側部隊として敵第十六、第卅二兩師を擊破し、五日夕刻衢州西方の對岸に進出、敵の退路を遮斷したほか一部をもつて衢州西方十キロの西鐵を占領、…

【江西省前線○○十二日同盟】衢州西方卅五キロの常山および西南卅七キロの江山を攻取、南北六十キロに亘る鐵路の陣を布いて敗敵を急追中の皇軍は、十一日夕刻遂に突破して江西省内に殺到、わが精鋭の威響は江西省東部の諸山々脈にこだましてゐる

蔣企圖の空のゲリラ戰潰滅

【玉山】【浙贛前線○○十二日同盟】十二日わが軍が占領した玉山は浙贛線のほぼ中心を占めてゐる衢州とならぶ米蔣合作の空軍基地として有名で敵側も力を入れて昨年來米人の指導下に設備の增强に努め長さ千八百メートル幅百五十メートルの滑走路その他の施設も完備してゐた東支那の敵空軍基地としてこのほか麗水があるが麗水飛行場も今次作戰開始後はわが進攻を恐れて敵が破壞しつくしてをり、今回の玉山攻略によつて東部支那の敵空軍根據地は悉く潰滅され敵が企圖した空のゲリラ戰は全く潰滅するに至つたわけである、玉山はまた第三戰區の中樞軍事據點たる上饒と奧地との連絡基地でもあり東南方面に對する物資補給、兵站基地としても重要な役割を果してゐただけにこの失陷により敵が被つた打撃は蓋し甚大なるものがあらう

狙ひは對獨作戰
英外相英ソ條約要綱發表

【リスボン十一日同盟】ロイター通信ロンドン來電＝イーデンイギリス外相は英ソ間に戰爭遂行協力條約が成立した十一日つぎの通り下院で發表した
ソ聯外務人民委員モロトフ氏は條約締結交渉のため廿五日ロンドンを訪問したが、さらにルーズベルト大統領と會談するため空路アメリカに向つた、今回の締結を見た條約は戰爭遂行に關し、軍事上、經濟上あらゆる相互協力を行ふほか平和の締結、戰後の復興は太平洋憲章の諸則にもとづき協力することを認めた、その他本條約の要綱は次の通り十項である

一、兩國は戰爭遂行に關し互に可能なる最大限度の援助を與へる決意を有することをこゝに再確言する
二、兩國はナチス政府が絶對に侵略意思を放棄せぬ限り絶對に交渉を行はぬことを誓約する
三、兩國のいづれの一方も他の同意を得ざる限りドイツまたはこれに加擔する如何なる國家とも休戰協定乃至平和條約を締結せぬことを誓約する
四、兩國はまた平和が確立された場合歐洲に安全と經濟的繁榮を齎すため協力すること
五、右の事業において英ソ兩國は聯合諸國の利益のため次の二原則にもとづいて行動すること
イ、單なる對外勢力膨脹を追及せぬこと
ロ、他國の内政に干渉せぬこと
六、兩國は戰後平和維持し侵略に抵抗する爲とるべき協同の行動につき意圖を同じくする他の諸國と特に協同の提案を採擇する
七、戰後兩國はドイツと行動を共にした諸國が再度歐洲において行動せぬやう全力を盡すこと
八、今次戰爭終了後英ソ何れかがドイツまたはドイツと行動を共にせる諸國との間に戰爭を開始せる場合兩國政府は相互に即時全力を盡して軍事上その他一切の援助を與ふること
九、同條約は英ソ兩國が同條約の終局目的とする國際安全保障に對する長期間の制度を確立するための提案が採用され、同條約に代り得るものたることを相互に確認するまで效力を生ずるものである
十、若しかかる提案が採用されぬ場合同條約は二十ケ年間效力を有し、その後は英ソ何れかにより廢棄されるまで存續する

敵機七十二を血祭り
海鷲、ニューギニヤに獅子奮迅

【○○基地十二日同盟】北に南に無敵海軍護衛の陣はいよいよ固く敵米英を縮みあがらせてゐるが赤道直下のニューギニヤにおいてもわが海鷲の精鋭は連日縦横の活躍をつゞけつゝあり、モレスビー猛爆に敵殘存軍事施設を爆碎し、あるひは小癪にも來襲を試みる敵機を叩き落して太平洋の孤兒濠洲に對し深刻な脅威を與へてゐる、さる五月十六日以後六月九日までにわが海鷲の血祭りにあげた敵機は撃墜六十八機、撃破四機、計七十二機にのぼりこの間わが方の損害は十三機であつた、この間における詳細なる戰果は次の通りである

五月十六日、ラエに來襲せる敵機二機を撃墜、同十八日、モレスビー攻撃にて敵戰闘機四機を撃墜、四機を撃破、同廿日モレスビー攻撃にてP三九型二機を撃墜、同二十三日、ラエに來襲せる敵一機を撃墜、同二十四日、サラモアに來襲せる敵B二六型一機を撃墜、同二十五日、ラエに來襲せる敵B二五型六機を撃墜、同二十六日、モレスビー攻撃にてスピットファイヤー四機およびP三九型六機を撃墜、同二十七日、モレスビー攻撃にてスピットファイヤー一機およびP三九型十二機を撃墜、同日、ラエに來襲せる敵B二六型一機を撃墜、同廿九日、モレスビー攻撃にてP三九型五機を撃墜、同二十八日、モレスビー攻撃にてP三九型二機を撃墜、同二日、モレスビー攻撃にてP三九型十一機を撃墜、同九日ラエ、サラモアに來襲せる敵B二六型四機を撃墜

サラモア西方の空中戰にて敵五機を撃墜、同二十七日、モレスビー攻撃にて敵スピットファイヤー一機およびP三九型十二機を撃墜、六月一日、モレスビー攻撃にてP三九型十一機を撃墜

米艦隊の一部 英艦隊に參加

【リスボン十一日同盟】米英艦隊の協力關係について從來兩國官憲はほとんど一切の報道を禁止し來つたが、十一日に至り米艦隊の一部分が英本國艦隊に參加しその一部分として行動してゐることが判明した、すなはち米トランスラジオ通信ロンドン電およびロイター通信はデーリー・メール紙記事として十一日…へ來たところによれば、米艦隊一部はロバート・ギッフェン少將統率のもとに艦隊司令長官ジョン・トービイ大將の麾下に屬し行動することゝなつたと報ぜられる

【ストックホルム十一日同盟】最近米艦隊の一部が英國に到着したことはたまたま英帝の右米艦隊派遣訪問から暴露されるに至つたが右は相つぐ敗戰によつて弱體化した英海軍を援助し英本國艦隊を補強せんとする工作と見られてゐるロンドンでは一般に英海軍は地中海ならびに大西洋における最近の戰局の推移ならびに獨軍がノルウエーの諸港に駐屯してゐる事實から多大の脅威を感じてゐたが今回の米艦隊の到着により一息つくことが出來るであらうと喜んでゐる

米ソ武器貸與協定近く調印

【ブエノスアイレス十一日同盟】ニユーヨークワシントン電によれば第一次米ソ武器貸與協定は六月末日をもつて期限完了になるのでこれに代るべき新協定の締結につきモロトフ外務人民委員はワシントン滯在中米政府當局と種々折衝した結果妥結に至つたので近く兩國代表によつて調印が行なれる模樣である

張答禮使節 新京驛着歸還

【新京十二日同盟】中華民國汪主席の滿洲國に對する答禮使節として來滿し訪問の大任を果した特派大使褚民誼外交部長以下各隨員を帶同、十二日午後五時五十分官民出迎裡に新京驛着アジヤで歸還した

内閣委員に熊谷憲一氏發令

【東京電話】政府では内閣委員に元大政翼賛會總務局長熊谷憲一氏を任命することになり十二日左の如く發令された
熊谷憲一
興亞院勤務を命ず

加軍參謀總長 太平洋岸警備の指揮に當る

【リスボン十一日同盟】當地に達した情報によれば、カナダ軍參謀總長ゲネス・スチユアート氏は太平洋岸警備軍の指揮に當ることになり十一日ヤタワよりブリテイツシユ・コロムビヤ州の某地に到着した

内相、首相輸長と協議

【東京電話】湯澤内相は十二日午後三時半首相官邸に東條首相と各省間にわたり十分問題につき要談をなし引續き星野書記官長と同様の協議を遂げ同四時辭去した

北居南面

日を逐つての敗戰に窒息狀態に墜ちてゆく米英は自國内の分裂防止と敗戰の糊塗に汲々として質なき宣傳に狼狽ぶりを見せ慨嘆をとゞめてゐるが▲またうつた手が國際政治の舞臺を狙つての米ソ說解、英ソ條約の賀を伴はぬ官僚的ゼスチユアだ▲昨年九月鬪のクレムリン宮に見栄を張つた三國會議で援ソ談議を行つたが、話は纏つても實際には援ソ物資は捗々しく運ばれなかつた▲いま再び蒸し返して世界に公表はしてみたものの英も米も戰力は極度に低下し、おまけに援ソ輸送ルートたる西の窓アルハンゲルスク、北の窓ナガエオ公路も米英の船舶は、妄動の餘地なき完封に遭つてゐる▲もつと決定的な點は反樞軸聯合國は既に自國を賄ふ船腹に極度の不足を告げ悲鳴をあげてゐるのに強氣をいつても底が見えてゐる▲會議は踊るといふ言葉があつたつケ▲田中政務總監伸張飛躍した半島の土を踏み蓬ましき前進を敢行せんと上陸第一聲を放つ、二千四百萬民衆は双手をあげて迎へん

巨人南總督の足跡
正に世紀の大奇蹟
半島三十年の躍進
南時代に全く結實す

惜別の謝恩大會

六月五日、南前總督に惜別の情切へ難き「國民謝恩大會」が總督府前廣場で行はれた。正に空前、未曾有のことである。翌六日南總督退鮮の沿道は學生、青年團員をはじめ、多數の府民に依つて官邸から京城驛迄、立錐の餘地なき迄に埋つくされた。中に、朝鮮文化團體聯合會、朝鮮文人協會、緑林聯盟、時中會大東同志會、大東民友會等、各種團體員の送別が目を惹いた。京城より釜山に至る沿道が送る民衆に埋められたとは固よりである。「不逞思想」といふ言葉が、半島に跳梁したのは過去のこと今ではすべてが、愛國の赤誠を沸らせて、皇化の恩澤に感謝してゐるのである。

新秩序の指導者

さもありなん、半島三十年の歴史を通じて、かくも絢爛たる時代が、嘗てあつたであらうか？身も心も大御稜威に體れ伏して、こよなき安寧を享受し、更に民業は躍進して、過去においては自活すらも及ばなかつた經濟をして、輝かしくも大東亞經濟の核心に迄上昇せしめたのである。しかも民度の向上、

項目	年次	數量	增加
朝鮮神宮參拜者	昭和5年	38萬人	
	昭和16年	320萬人	(8.4倍強)
人口	明治43年	1,331萬人	
	昭和15年	2,432萬人	(1.7倍增)
初等學校增加率	明治43年	535校	
	昭和16年	5,509校	(10.5倍增)
豫算	明治44年	4,617萬圓	
	昭和17年	11億2,400萬圓	(24倍強增)
國稅徵收額	明治44年	1,259萬圓	
	昭和17	2億7,729萬圓	(22倍強增)
貿易高	明治43年	5,969萬圓	
	昭和14年	23億9,524萬圓	(40倍強增)
朝鮮銀行券發行高	明治45年	2,016萬圓	
	昭和16年	6億5,000萬圓	(32倍強增)
銀行・會社資本	明治44年	11,900萬圓	
	昭和15年	92億2,100萬圓	(77倍強增)
預金及貯蓄總高（債券証券保有高ヲ含ム）	明治43年	1,835萬圓	
	昭和16年	25億3,735萬圓	(138倍強增)
貸出總高	明治43年	3,791萬圓	
	昭和16年	29億2,864萬圓	(77倍增)
總生產高	明治43年	24,825萬圓	
	昭和15年	[illegible]	[illegible]
農產高	明治43年	22,717萬圓	
	昭和15年	20億5,256萬圓	(9倍強增)
米產高	明治43年	1,040萬石	
	昭和16年	2,480萬石	(2.3倍強增)
工產高	明治44年	1,500萬圓	
	昭和15年	18億7,363萬圓	(12.5倍強增)
水產高	明治43年	814萬圓	
	昭和15年	3億7,272萬圓	(46倍強增)
林產高	明治43年	1,900萬圓	
	昭和15年	2億3,667萬圓	(12倍強增)
鐵道營業粁程	明治43年	1,118.5キロ	
	昭和15年	6,108.1キロ	(5倍強增)

備考 (1)右欄ニ示ス現勢ヲ十トシテソノ躍進比率ヲ算出セルモノナリ。(2)預金及貯蓄高ハ銀行、東拓、金組、信託、生保、郵貯、無盡ノ預金及拂込金及債券證券保有高ニツキ算出。(3)貸出總高ハ銀行、東拓、無盡、信託、金組、簡保ノ貸付金ニツキ算出。

産業の飛躍は必然的に半島民的地位を對外的に確認せしめた。即ち、半島人は堂々内地同胞と等しく、世界新秩序の指導者、開拓總局次長等の要職に清原氏を見る

開闢以來の盛事

一例を擧げるならば、滿洲國參議の要職に清原氏を見るなど、又、遂には南總督の施策に依つて、滿洲國民の皇國臣民としての確固たる地位を對外的に確認されるに至つたのである。この光榮、その偉業や大なり。而して、皇化半島の面目、躍々たるものがある。

南統治茲に結實

その躍進の尺度を忠實に表現した一例は工業生産の數字である。…その殆どが五十倍、六十倍と飛躍してゐるのである。しかもその數字は、南時代に入つて飛躍的に増大してゐるのである。

足下にも敗戦米
總督府庭の米種芝生枯る

ダッチハーバーやミッドウエーは當然のこと、照り輝く日本の御稜威に恐れてかこのころではアメリカ種の芝生までが枯れ出した――場所はカイダの石像が笑つてゐる總督府玄關前この芝生、冬でも青々と緑芽が萌えるといふので、一つ皆んなを喜ばしてやらうと會計課の人々がわざわざ東京から買ひ込んだのが五年前、ところが生れが悪いのかこの芝生お國の癖を丸出しで我儘なヤンキー野郎そつくり、ちよつと雨が降らなかつたり陽が強過ぎたりするともう直ぐ弱音を吐いて枯れてしまひ、無恰好な古戦場になつて『うはべは立派さうでもやつぱりアメリカはアメリカだね』とあつて、長い間可愛がつて來た會計課の人々も終に手をやき、去年あたりから禿げたところをまた元の朝鮮種に植ゑ替へ出し足の下にもアメリカ必敗の話があるといふ話【寫眞＝朝鮮種（前方）の前に残骸をさらすアメリカ種芝生】

丸刈に示す決意
"たゞ懐しいの一言に盡きる"
錦を飾つて田中總監

【釜山にて井上特派員發】ようこそ田中政務總監と官民から熱誠溢れる出迎へを受け十二日夕刻六年ぶりに半島へ錦を飾つて釜山へ上陸第一歩を印した田中新政務總監は喜びに面を輝かせながら鐵道ホテルの一室で記者團を眺見しながら第一聲の口火を切つた

『今回測らずも政務總監を拜命しまして……』

なつかしい總監の聲だ、朗々たる名調子で總監は聲明文を讀み上げて行く、モーニング姿の總監は如何にも暑さうだ、時々眼鏡を外しては汗を拭きながら親切に一字一字を讀み上げる、最後に

『躍進半島の本領を大東亞に顯揚せんことと……』と讀んでからホツとした面持で一服入れてから

『私のいふことはこれだけだよ、あとは總督が來てから統治に關する大方針を示される筈だ、なにもう少し喋れといふのか、女房のいふことは君もう何もないよ』

と愛嬌を振りまきながら並みゐる記者團をドツと笑はせる、次いで一問一答

問　上陸第一歩の印象は？

答　非常になつかしいといふ一言に盡きる

問　きのふの電送寫眞では頭髪をのばしてをられたが、いつ頭髪を刈られたか

答　これはね、朝鮮に行けば頭髪の毛を短くした人達が行儀よく迎へてくれるのに私がのばしてゐたのぢや濟まんぢやないか京都の都ホテルでゆうべ刈つたんだよ、中野正剛君からも褒められた、刈らない前の方が好い男だつたよ

問　上陸の時顔色が悪かつたやうですが

答　いやあれは海の色が映つたんだよ

と元氣溌剌たる裡に會見を終つたところだね、朝鮮の話か、朝鮮は難しいところだよ、だから當局の揚足取りをせず大局的立場から總督府を盛りたてゝ行くことが肝腎だ、總督の事務引繼のときに小磯新總督に御挨拶する積りだ』

"一介の浪人だ"
感想もないと寛ぐ大野さん

【東京特電】京都都ホテルでバトンを田中新總監に渡しほつと一息ついた前總監大野緑一郎氏は十一日はテル子夫人とお揃ひで嵐山を訪ね同夜感慨深く田中新總監を見送つてから更迭以來久し振りの静かな夜をぐつすり眠り十二日午前七時卅三分京都驛發の特急『富士』で夫人同伴、天谷前秘書官總督府秘書官、横手巡査部長等と共に一路東上午後三時廿五分東京驛着川岸奨學會理事長、三橋前警務局長、樋場拓務次官ほか拓務省各局長、萱間日本窒素副社長、林殖銀頭取、熊谷本社支配人ほか多數の出迎へをうけ直ちに總督府差廻しの自動車で市外吉祥寺の自宅に入つたが

『一介の浪人だ、感想もない』と前置して次の如く語つた

『自分は今健康が勝れないので暫らく腰を落ちつけて靜養する積りだ、貴族院も一年生だから、まあぼつぼつやるよ、僕はいままで度々京都に來てゐながら京都見物をしたことがないので十二日は肩の荷の下りたところでゆつくり見て來たよ、實によい

史蹟名勝
三十四件指定

【東京電話】文部省では十二日午後本年度第一回史蹟名勝、天然記念物調査會を開き新に史蹟十一、名勝五、天然記念物十八計卅四件の指定を決定した、近く正式手續の上指定告示するはずである

今回指定の分には明治天皇御聖蹟四件はじめ林子平、蒲生君平、高山彦九郎の寛政三國士の墓が揃つて指定をうけてゐるほか名勝には江戸時代以來の名苑と謳はれてゐた京都南禪寺境内の金地院庭園、同清水寺境内成就院庭園が指定され天然記念物には秋田地方の郷土料理に賞味されてゐた比内鷄が指定され從來のやうに一般の食膳に上ることが許されなくなつた

【南支○○前線十日同盟】わが第一線の果敢な猛進撃に頑應してさらに大なる成果を獲得するため警備を分たぬ活動をつゞけてゐるわが精強なる工兵部隊の努力こそ、いかなる稱讃をもつてしても及ばぬ感謝と敬意を捧げらるべきである

對日進攻據點アラスカを衝く（二）

米國機の航續半徑

對日北方據點アラスカ、アリユーシャン方面よりの米空軍の日本來襲の可能性に就て、大本營海軍報道部課長平出英夫大佐は四月十一日の放送で次の如く述べてゐる

しかし本問題は、かゝる作戦を實施する者の準備と、訓練と、精神力如何によるものである、要するに、北方よりする日本空襲は不可能ではないが、極めて困難である、しかもこの方面に如何なる敵襲ありとしても、海軍としてはビクともせぬ固い備へがある

わが北方の護りは嚴として磐石である、『日本空襲は、不可能ではないが、極めて困難である』――平出大佐の明言には、わが磐石の護りに加へて、米が唯一の對日進攻路とする北洋の困難なる地理的乃至氣象條件、日本本土への航續半徑の遠隔といふ諸點が示唆されてゐることはいふまでもないであらう

先づ米空軍がわが帝都東京空襲を企圖するとして問題になるのは航續半徑の問題であるが、アリユーシャン群島の米空軍基地ダッチハーバー東京間は二五五〇浬、アッツ東京間は二二〇〇浬で、これは既に撃滅した米の對日南方進攻路ミッドウエー東京間二二五〇浬とほゞ同距離にあつて、米が誇る空の要塞ボーイングＢ一七（航續半徑一五〇〇浬）コンソリデーテッドＰＢ二Ｙ二重爆（航續半徑二一七一浬）同ＰＢＹ―四（航續半徑一八七二浬）を以てしても、片道を飛び得るに過ぎない、即ち東京爆擊は可能であるが、基地に歸還し得ない――換言すれば、東京はアラスカ、アリユーシャンを基地とする米空軍の爆擊圏外にあるといふことで『米機は東京を爆擊してシベリヤのソ聯領内に着陸を企圖してゐる』などの噂の喙へられるのもこの邊の消息を物語るものなのである

潜水艦のゲリラ戰

空軍と潜水艦基地
皮肉、對日進攻路自らの墓穴に

アラスカ、アリユーシャンの地理的乃至氣象條件から見て、警戒すべきは、空軍よりも寧ろ潜水艦を以てする海洋ゲリラ戰、航空母艦のわが本土接近であらう、それには次の如き事情があるのである

このアラスカを據點とする北方進攻路は、東亞への最短距離であり、後方連絡を脅かされる危險もないが、大艦隊を收容し得る良港灣がないといふ致命的缺陷を持つてゐるだけに、特にハワイ眞珠灣の太平洋艦隊壊滅後アメリカはアラスカ、アリユーシャンの軍備の重點を空軍および潜水艦基地として警備強化に狂奔しつゝあるのであつて、今日一五〇〇トン級の大型潜水艦の行動半徑が一五〇〇〇浬にも及ぶといふ事實は銘記さるべきであらう

次にブラックス教授のアラスカ氣象調査報告を摘記してみよう

一、内陸方面　アラスカ内陸地方はベーリング海へ注ぐユーコン河峡谷で典型的な大陸性氣候で最低氣温は零下五〇乃至五五度に達し、雨量は約三〇〇粍しかない、降雨は主として夏季驟雨として降る、風は弱く、暴風雨も雪も少い、故に米本土との連絡飛行は海岸によらず、内陸を飛ぶのが普通で、フエアバンクスの如き良飛行場は概してこの區域内にある

二、ベーリング海沿岸地方　海洋性といふよりは大陸的性格を帶び、冬の最低氣温は内陸より若干高いが、北氷洋方面と同じく酷寒となる、雨量は年に四〇〇乃至八〇〇粍で北方程少いが内陸より餘程多い、雨は晩夏から初秋にかけて多く、霧は夏季も多く、冬強風の吹く時も多い、冬は北寄りの風が卓越するが、風當りを弱める樹木がないから威力を存分に發揮する

三、アリユーシャン列島　太平洋沿岸及びアリユーシャン列島は一つの氣候區をなし温和で雨も多く、海洋性で、海岸は年平均濕度は四乃至五度、冬はダッチハーバーのやうな海岸では餘り寒くならぬが、この氣候區では先づ最低氣温は零下二〇度位になると見てよい、十月から二月迄の快晴日數は三〇乃至四〇日位しかなく三分の二位は曇天になつてゐる、沿岸は大體一年中航行可能である、アリユーシャン列島方面では、年雨量は一五〇〇粍で、濕度は低く霧も雲も降雨日數も多く風速も強い、低氣壓が陸續と襲來するので、鬱陶しく、濕つぽく、冷えくする、西の方は特にこのやうな傾向が強く樹木は少い、夏になると天氣は割合によくなり、野生の草が緑毯を敷きつめたやうになる

アラスカの大軍擴

大東亞戰爭勃發以來、アメリカが北方對日據點として、アラスカ、アリユーシャンの空海軍増強に如何に狂奔してゐるかは屢々外電の報ずる通りである、アラスカは地圖の示す如く、その大陸部から南にアラスカ半島が突出し、その先に蜿蜒一千二百浬におよぶアリユーシャン列島（五十餘島よりなる）がベーリング海に點綴してゐる、その最前空軍基地がアッツ島であり、東京へ二千二百浬、カムチャツカのペトロパウロスクへ五百浬、わが千島の北端へ八百浬で完全に爆擊圏内にある、その東方のキシユカ島は大統領令で防備區域におかれ、以來海空軍基地として建設工事に狂奔してゐる

キシユカの更に東方のウナラスカ島（ダッチハーバー）は大統領令による防備區域であるは勿論、海空軍基地として最大の設備を有し、相當大型の艦艇も收容し得て對日據點として一大策源地をなしてゐる、更にアラスカ大陸に近くコデイヤック島、パラノフ島の軍事基地があり、アメリカは本年一月以來防備費二百七十四萬八千ドルを投じてコデイヤック島とウナラスカ島（ダッチハーバー）二軍港の擴充強化を圖つてゐる、コデイヤック島は既にウイメンス灣に九百萬ドルを投じて海軍基地を建設し、その後更に同島と呼應するシトカにも軍備強化を圖り、兩地を通じて三千萬ドルの大豫算で工事完成を急いでゐると報ぜられる

クック灣の突端に近いアンカレーヂは、昨年七月米陸軍航空司令アーノールド將軍が再調査の結果現在は一萬五千の軍隊が駐在し、陸軍航空基地として、郊外のエルメンドルフ飛行場の設備強化に狂奔してゐる、汎米航空會社とパシフイック・アラスカ航空會社の擴張據點フエアバンクスはアラスカの心臟部であると同時にアラスカ大陸の空陸軍の中心基地をなしアーノールド將軍は昨年來調査のため前後二回飛來して、空陸軍の擴充強化をなし、七千フイートの大滑走路の竣工も報ぜられてゐる

以上で、アメリカが對日進攻據點として、如何にアラスカの軍備に狂奔してゐるかゞ判るであらうが、この對日進攻據點が何時の日か皇軍の米本土進攻據點に轉換するの可能性は、大東亞戰開始以來の皇軍の雄大無比の南方作戰からも容易に想像されるではないか【日魯漁業顧問、詳瑞專一】（續く）

敗敵・豪雨・酷暑
涙ぐまし工兵隊の活躍

わが南支軍が進撃した警備線路の殘骸は水田および沼澤と縱横かな山野を連ねて蜿蜒と延びてゐる、しかもこの附近の住民を强制使役して深さ丈餘、長さ二十間もの阻害穴を掘り、橋梁は悉く破壞するなど手段を選ばぬ暴擧を極め、敵がいかにわが進撃に怯えたかを物語るに充分である

わが第一線各部隊はかくのごとき徹底した敵の障碍を克服し、あるひは山道を迂廻、あるひは濁流をおし渡つて驚異的な進撃ぶりを示し敵を呆然たらしめたのである、しかし占領地の確保敗敵掃蕩、あるひは敵情捜索に只管つぎの作戰に備へて前線警備をしつゝある前線部隊への兵站補給線確保あるひは補修の大任は終始わが工兵部隊の双肩にかゝつてゐる

敵得意の便衣ゲリラ戰と闘ひながら灼熱百三十度の炎暑やあるひは地軸を流す沛然たる豪雨を冒して少しも早く前線補給路完成を急ぐ工兵部隊の獻身的活躍の姿こそ頭のさがるものである、物資もない山間を辿つて彼方の粗末な寡舍は道路補給修理進捗と共につぎくに移動してゆくのだ、その後を追つて續々輸送部隊がつめかける、まづ聯絡が修理されて馱馬隊がゆく、やゝ道幅が擴められると聯絡隊が續いた、さらに擴大された道をトラック群が續くのだが、この輸送部隊の通過したのちの道は甚だしく損傷される、それをまた補修班の一隊は黙々とさらに前進しなければならない、追ひつ追はれつ輸送部隊工兵部隊は一丸となつて第一線部隊を追つて敗敵が續けられる、彼等の赤銅色の皮膚は陽に灼け、幾回皮がはげたことであらう、ほとんど形をなさぬ泥塗れのシャツはいまはその地色を識別することさへ出來ないほど汚れ切つてゐる、雨に曝され、陽に灼け表現さへ不可能な苦難の進撃を物語り得るものは黒光りする皮膚だけだ、かゝる苦難を越えて齎される大事な物資は豫後兵行つぎの作戰に備へて運ばれ續けられてゐる

藝能界を動員
支那事變記念と防諜運動の徹底

【東京電話】大東亞戰爭の口火たる支那事變を回顧し國民の對支認識を深める『支那事變五周年記念日』は來る一日から八日までまた一億防諜陣の鐵壁を期する『戰時防諜強化運動』は同十三日から一週間にわたり全國的に展開されるが情報局では映畫、演劇、音樂などを通じ兩週間の趣旨の徹底をはかるため、十二日午後二時關係官廳および藝能關係會社、藝能文化聯盟、興行者協會の代表者を情報局に招致して宣傳方策懇談會を開催、藝能各分野總動員による強力な啓發宣傳實施方針を決定したこの兩週間には各興行場ではプログラム、廣告などに事變關係防諜關係の標語を織り込むほか興行の幕内にはアナウンスやレコードにより趣旨の徹底に努める、また劇、紙芝居、漫才、浪曲、舞踊などもこの趣旨に因んだものを上演し映畫では支那事變關係は情報局監修の日本ニユースの特輯『大東亞建設の序曲』（日映）北支軍の奮戰を描く『どこでも戰つてゐる』（日映）滿洲警備の勞苦を描く『北邊の護り』（滿映）および『新東亞作戰記錄』（日映、中華電影共同）の四本でも防諜關係のものは目下企畫中である

明朗、三百一年目の太陽

今日もジャバ富士は静かに晴れてゐる、砲火の響も全く絶えて建設の鎚の響きが高らかに音を立てゝゐる、日本軍が來る間際まで『妻子を賣つてでも納めろ』と執拗に責め立てゝ來た和蘭人收税吏も、今ごろは何處かで捕虜か何かになつて收容されてゐるのであらう、この静けさ…三百一年目に復つて來た生活の平和が來たのだ、そしてこの静かな生活を脅かす何者も來ることはないのだ、日章旗のひるがへるところ、永遠に侵略者は寄ひ寄ることはないのだ

全鮮一を誇る
纛島近くに新競馬場

京城府外纛島水源地北方に十三萬坪の廣大な京城競馬場が新設される、今春新設された朝鮮馬事會では新設町にある現京城競馬場が都市計畫の遂行上移轉の止むなきに至つてゐるのを機會に名實共に朝鮮一の競馬場を新設すべくその準備にとりかかつた

新馬場たる纛島水源地北方の地域は舊朝鮮競馬協會が去る十五年秋に買收を終り着工に至らずして大東亞戰爭勃發のため地均しも行はれずにゐたもので新設競馬場はその規模において現馬場の約倍大でスタンドの收容人員二萬人、廐舎も六百頭を收容し得るものを作り馬の保健管理上理想的なものとする、馬場の大きさは千六百米を充分取り得るもので全線的の構成美をも考慮した豪華なもの、工費は馬場新設費百五十萬円、スタンド費百五十萬円で遅くとも明年度一杯には完成をみる豫定である

遣滿音樂使節
京城出身者も参加

【東京電話】上野の東京音樂學校では滿洲國十周年の佳き年に當り慶祝音樂使節を送ることになつた同校は開校以來六十餘年未だ一度も海外に演奏旅行を試みたことがなかつたが時に滿洲への慶祝と皇軍慰問のため乗杉校長を團長に聲樂専門生からなるコーラス班約五十名、若手教授とオーケストラ部員とからなるオーケストラ班約七十名、總勢百二十五名が渡滿する中にはハルビン出身の馬羅純さん（ピアノ）京城出身の尹琦善（ピアノ）朴敏鍾（ヴアイオリン）兩君があり故郷の人々の前で獨奏すを喜びに今から胸をときめかせてゐる

一行は八月七日東京を出發して大連、旅順を經て十四日新京着豫定

聯盟幹部と座談會
北支協勵會の朝鮮視察團入城

赤誠の熱情に燃える北支各地在住の半島人により誕生した協勵會の第一回朝鮮視察團一行廿一名は團長金光協勵家口協勵會理事に引率されて十一日入城、十二日正午から總力聯盟事務局に烏川總務部長以下各幹部と膝を交へて座談會を開催、平壌、咸興、元山などと入城

西大門國民校生の誠

次代の日本をになふ小國民に敬神觀念の徹底を期すべく西大門國民學校では牧野校長が音頭を取つて生徒達が回收した慰問品で東亞共榮圏建設の華と散つた戰歿將兵の忠靈塔を建設することになつた

張赫宙氏に聽く會

總督府囑託として在滿半島開拓民部落を視察して歸つた朝鮮文人協會の第一陣たる張赫宙氏の歸城を迎へ、拓務課では十二日午後一時から半島ホテルでその報告座談會を開いた

出席者は青山總督府拓務課長を初め同關係者、張赫宙、本田秀夫、大旗良一、津田剛、三矢俊雄、白矢鐵、寺田瑛氏等十餘名先づ萬寶山、榮興、懷德等の部落の状況からその文化施設への希望開拓精神の徹底強化などに亘り張赫宙氏を中心に種々話題を交換して午後三時廿分散會した

中島豫備海軍中將

【東京電話】豫備海軍中將中島資明氏はかねてより病氣療養中のところ十二日午後一時二十五分目黒區上目黒五ノ二三二四の自宅で腦貧血で逝去した、享年七十一

一行は總力聯盟、市内防空施設、史跡などを見學し十三日午後十一時二十分京城發一路内地に向ひ、大東亞戰下の決戰體制を各般に亘つて視察するが、大連歸着は七月六日の豫定【寫眞＝本社來訪の一行】

日本派遣團
滿洲鐵道愛護會の一行來城

滿鐵一萬キロの防備に身をもつて挺身する滿洲國内鐵道愛護會の指導者をもつて組織する"日本派遣團"一行卅三名は團長三木茂雄氏に引率されて十二日午前十一時十分京城驛着、直ちに朝鮮神宮に參拜後、本社に來訪した

なほ一行は十三日午前十一時廿分京城發大田、大邱、釜山などを視察して十八日釜山發一路歸國の途につく

までに視察して來た銃後愛國熱に燃え上る故郷について語り合ひ、北支における協勵會運動と總力運動との連携強化など極めて熱心な話題が續出した

定價一ヶ月金二圓…
京城府太平通一丁目三十一番地
京城日報社

浙江戰線

大谷灘市を拔いて疾風、要衝江山を占領
北岸部隊は常山攻略

【浙贛前線にて十一日同盟】衢州城を攻略後引續き敗敵を急追中の皇軍は、衢州に沿ひさらに西南方へ戰果を擴大し北岸部隊は九日午後七時衢州西方三十五キロの常山を攻略、南岸部隊は十日大谷灘市を拔いて浙贛線の要衝江山(衢州西南二十七キロ)に迫り、同地東方の山岳地區において敗敵の抵抗を粉碎し、十一日午後四時完全に江山を占領し新たに〇〇方面に猛追擊戰を展開してゐる

陸鷲廣信、長沙爆擊

【中支〇〇基地十一日同盟】わが陸鷲の精鋭は十一日午前敵第三戰區の大據點廣信(名上饒城、江西省東部)を數次にわたり急襲し市街の軍事施設および敵蓄積物資に巨彈を浴びせて大火災を起させたほか浙贛線上の貨車廿輛を爆碎した

【上海十二日同盟】軍關係筋によれば、日本航空部隊は十一日午前長沙の軍事施設を爆碎した

江西戰線

建昌を拔く

【江西省前線〇〇十二日同盟】去る八日崇仁、宜黃の諸要衝を攻略したわが有力部隊は敵第七十九軍の敗敵一萬を追つて猛進中であつたが、十二日午前四時遂に江西省屈指の都邑建昌(宜黃東方六十五キロ)の一角に突入市內の殘敵を掃蕩し同十時これを完全に占領した

わが作戰に眞摯協力
廣東省政府が宣傳指導隊

【廣東十一日同盟】わが南支軍精鋭の北上作戰開始以來逃走する重慶軍の殲滅に活躍する中國側軍隊の眞摯な協力は實に目覺しく陸軍第三十師の一部はすでに前線に出動熱烈を冒して奮鬪をつゞけてゐるが、さらにこの度わが新占領地域住民が重慶軍の苛斂誅求に逢つて疲弊困憊を極めてゐる實情にかんがみ中國側當局は率先これら住民の宣撫工作に乘出すこととなり、廣東省政府宣傳處の肝煎で新聞記者、省宣傳處員、省黨部員ら約三十人の文化戰士をもつて宣撫工作指導隊を組織一行は十日勇躍前線に出動した、これら指導隊は藥品、食糧などを多數携行して戰區住民にこれを配布あるひは施療に當るほか講演に演劇に和平建國と大東亞共榮圏建設の新意義を敷衍解說しつゝある

米商船擊沈

【リスボン十一日同盟】ワシントン來電によれば、アメリカ海軍省はアメリカ商船一隻がまたくアメリカ大西洋岸で樞軸潛水艦の襲擊をうけ沈沒した旨十一日公表した

擊墜されて燃え上る英機　小癪にもわが〇〇基地奇襲の英機、わが荒鷲のため忽ち擊墜され哀れ灰燼に歸す(陸軍省檢閲濟)＝電送

ダーバン沖に日本潛艦
南阿當局確認　住民を衝擊

【ベルリン十一日同盟】デー・エヌ・ベー通信によれば、南阿聯邦海軍司令部は十日發表のコンミュニクにおいてナタール州のダーバン港沖合を日本潛水艦が巡航しつゝある旨確認し南阿聯邦住民に多大のセンセーションを捲き起した、この公表につぎ陸軍當局は緊急措置をとり、ダーバン市ならびに海岸線より六十四キロの幅をもつて海岸地帶一帶に燈火管制を發令した

わが濠本土砲擊
シドニー市民　極度に狼狽

【リスボン十一日同盟】ロイター通信シドニー電によれば、日本潛水艦のシドニー港砲擊の被害は當局の氣休め的發表にも拘らず甚大な模樣で市民のうけた心理的打擊は絕大であつたといはれる、なほ同市某保險會社の報告によれば戰爭の被害に怯え切つた市民は先を爭つて生命保險をかけるやう火災戰爭保險の新規申込みをするなど保險會社は多忙を極めてをり市民の狼狽ぶりを如實に物語つてゐる

藏相、省委員初顏合せ
十五日藏相官邸

【東京電話】賀屋藏相はさきに任命された大藏省政府委員と懇談のため來る十五日午前藏相官邸に委員四十名を招待、初顏合せを行ひ懇談することとなつた、しかして大藏省として政府委員の運用については委員長は設けず、連絡のため幹事を置く方針であるが、今回の政府委員の任命によつて從來大藏省に設置されてゐた各種委員會の改廢は行はない方針である

商工省機構改革
十五、六日頃公布

【東京電話】商工省の機構改編は振興部廢止に化學局の一部改編を行ふが、右は來る十日の樞密院本會議において最後的決定を見た上、來る十五、六日頃公布の豫定である、しかして今回の機構改編は振興部に重點を置き、企業局と改名して中小商工業の整備に當らしめると共に化學局內に一課を增設するものである

各省委員の活用
けふ閣議に附議

【東京電話】內閣および各省に設けられた委員の服務規律に活用方法の基準は十二日の定例閣議で決定し各省に指示することゝなつたが十一日の定例次官會議において森山法制局長官は內閣四長官で作成した委員制度運用に關する草案を提示し、委員制の目的たる職務を助ける上に委員の熟意を傾注せしめるやう運用上に新たな工夫が盛られてゐる點を說明し各次官と隔意なき意見の交換を行つた、尙委員は來週早々各省別に初顏合せをなしその運用に關し各省當局と懇談することゝなつた

英ソ條約、米ソ諒解成立す
米英、苦し紛れの謀略
援ソ、第二戰線に狙ひ　實質効果全くなし

【リスボン十一日同盟】獨伊兩國陸海空軍の作戰進展により日々戰域を狹められつゝある米英兩國政府は獨軍の新規攻勢により漸次壓迫をうけつゝあるソ聯政府とともに戰爭遂行の根本對策建直しの必要に迫られつゝあつたが、過般來ソ聯外務人民委員モロトフは極秘裡にロンドン及びワシントンを訪問三國の提携工作強化につき協議を遂げた結果このほど相互協力に關し英ソ條約および米ソ諒解がそれぞれ成立した旨十一日ロンドン、ワシントンおよびモスコーにおいて同時に發表された、右交渉はソ聯が中心であるため無論歐洲を直接目標とするものであるが、右につきロンドンおよびワシントンよりの情報を綜合するにモロトフ外務人民委員は先づ五月廿五日ロンドンを訪問、三日間滯在して英外相イーデンを中心に英首腦と折衝した結果、廿六日戰爭遂行協力に關する條約を締結調印した、ロンドンにおいて交渉を終つたモロトフは廿七日同地出發廿九日ワシントンに到着しソ聯大使リトビノフ援助の下に大統領ルーズベルト、ハル長官、ホプキンス武器貸與計畫局長官、マーシャル參謀總長、キング合衆國艦隊司令長官など米國首腦部と協議を進めた結果根本的諒解に到達したものである、モロトフは條約を終り六月四日ワシントンを出發した【寫眞＝上から モロトフソ聯外務人民委員、イーデン英外相、ルーズベルト米大統領】

ソ聯政府も公表
モロトフの訪英米

【モスコー十二日同盟】ソ聯政府は十一日午後モロトフ外相の英米訪問および英ソ協力條約、米ソ諒解成立を公表しラジオをもつて全國民にこれを通達した

英外相、議會に發表

【チユーリツヒ特電】【十一日發】ロンドン來電イーデン外相は、十一日イギリス議會においてモロトフソ聯外相の訪英、訪米の事實を次の如く發表した

イギリス政府首腦部は去る五月二十一日ロンドンを訪問したモロトフソ聯外相と會談の結果英ソ兩國間に相互援助條約が締結された、同條約は英ソ兩國の軍事的政治的、經濟的協力の緊密化、ヨーロッパ第二戰線構成に關する完全な諒解及び兩國はドイツ或はその同盟國と單獨講和を締結せぬとの條項等を內容とするのである、モロトフ外相は英ソ會談終了後アメリカに赴き去る廿九日ワシントンにおいてルーズベルトと會見歐羅巴第二戰線形成に關し協定を締結した、なほモロトフ外相は現在既にソ聯へ歸國してゐる

英、ソ親書交換

【リスボン十一日同盟】英ソ協力條約調印に當り英帝國ソ聯最高會議々長の間に親書交換が行はれた

【リスボン十一日同盟】英ソ新條約締結交渉と同時にイギリス政府首相チヤーチルとスターリン議長との間に親書が交換された旨發表した

獨大使、土大統領と會見

【イスタンブール十二日同盟】アンカラ來電によれば、フオンパーペン獨駐トルコ大使は十一日サラジヨグル外相陪席のもとにイノニユトルコ大統領と會見要談を遂げた

戰爭共同遂行
諒解成立、米政府發表

【リスボン十一日同盟】ワシントン電＝ホワイトハウス當局は十一日の記者會見において戰爭共同遂行に關する米ソ諒解成立につき十一日次の通り發表した

ソ聯外務人民委員モロトフ氏は米國大統領の招請により去る五月廿九日ワシントンに到着數日間國賓として滯在した、同氏のワシントン訪問は大統領とその側近者およびモロトフ氏一行との間に友好的な意見の交換を遂げる機會を與へた、右會議に參加したものは同氏のほか駐米ソ聯大使リトビノフ氏、米武器貸與計畫局長官ホプキンス、陸軍參謀總長マーシャル大將、合衆國艦隊司令長官キング提督など米國務長官ハルも重要問題以外の會談に列席した、右會談において一九四二年度中における歐洲第二戰線形成が緊要の要務であることに意見一致した、次で米國よりソ聯に對する飛行機戰車その他の軍需資材の輸送增加促進問題に關する諸措置も議せられた、さらに戰後平和と安全を保障することを目的とする米ソ兩國間協力に關し基本的問題も討議され米ソとも右諸問題に對し見解が一致した

世界史最大の戰略
日本軍のアリユーシヤン上陸
濠洲、重慶にも重大影響

【ベルリン特電】【十日發】アリユーシヤン列島攻略によつて北太平洋に展開中の我大作戰は一擧にして全世界の耳目をここに一點に集中せしめた、それは今次大戰の主要舞臺が今や大西洋より太平洋に移行太平洋の制海制空權獲得こそ今次大戰の鍵だと見るやうになつて來た大勢の推移を示すものである、アメリカはミツドウエー沖における我空母一隻の擊沈を最大限度に利用、太平洋の制海權はこれで再びアメリカに復歸したと鳴物入りで戰果に無驗な宣傳をしてゐるがドイツ政府筋では、日本のアリユーシヤン列島上陸成功の事實こそ日本の太平洋における制海、制空權が不動になれることを雄辯に物語るものである、この上陸作戰を可能ならしめたる自體が明かに日本の艦隊及び航空部隊勢力がアメリカに比べ遙かに優越してゐることを示すものだ、而も賢明なことは日本がミツドウエー島沖海戰に於てアメリカが勝利の宣傳に夢中になつてゐるのを敢て聞き流したことで、つまり米英の手に引かゝらずアリユーシヤン列島上陸作戰に富國を混さなかつた點だ、と日本の自信滿々たる態度を稱讚してゐる、アリユーシヤン作戰に關してはドイツ各紙もアリユーシヤン上陸こそ全く眩ぎやうのない攻擊魂の現れで日本の必勝の精神を完全に表明したものだと稱し、本作戰こそ世界歷史最大の戰略である點を指摘してゐるが、特に軍事專門家筋では、これが日本の決戰的意味を持つ許りでなく重慶政權及び濠洲の去就に重大影響を與へるものであるとしてゐる

田中政務總監
あす午後京城着任

【情報課發表】田中政務總監は六月十三日(土曜)午後二時京城驛着直に朝鮮神宮に參拜、李王家、李鍝公家、李鍵公家に伺候、午後三時二十分登廳の上、政務總監室において本府各局部課長、在京城第一次所屬官署長等に接見、引續き本府正面玄關において初訓示を行ひ午後四時政務總監室において、新聞記者團と會見し翌十四日、水原農事試驗場における農民デー行事參加の豫定、十五日は京城神社に參拜、午前十時より初の局部長會議を開き、午後軍部訪問の豫定

首相、小磯總督を招待

【東京電話】東條首相は十二日定例閣議散會後小磯朝鮮總督を招待全閣僚出席午餐を共にした

英機二十三機擊墜
獨伊軍の活躍

【ローマ十一日同盟】イタリー軍司令部發表＝

一、マルマリカにおける飛行部隊間の戰鬪は依然繼續中であるが、第四戰鬪機隊に屬する一隊は數においてはるかに優勢なる敵と交戰し多大の戰果を收めた

一、イタリー空軍は數次にわたる戰鬪により敵カーチス機十四機を擊墜わが方全機無事歸還した、獨軍はさらに七機をドイツ戰鬪機により一機を對空砲火により喪失した

一、イギリス軍のタラント爆擊により同地は小規模の火災を生じたが、直に鎭火し數戶の家屋の被害に止まり死傷者は少かつた、なほ本戰鬪で對空砲火により英軍爆擊機二機を擊墜した

一、セバストポリに對し猛擊續行中のドイツ軍は同港において一千トン級商船一隻を擊沈した

一、獨伊空軍はマルタ島のイギリス飛行場を爆擊イギリス機八機を爆碎した

北阿の樞軸軍に凱歌
獨軍ビルハケイム占領

【ベルリン十一日同盟】ドイツ軍司令部發表によれば、北阿戰線ビル・ハケイムの堅陣によつて頑強なる抵抗を續けてゐたイギリス軍に對しドイツ軍樞軸は數日にわたり果敢なる猛襲を加へた結果十一日遂に同地を占領した

ソ聯軍の反擊を擊退
獨軍各戰線に活躍

【ベルリン十一日同盟】獨軍司令部發表＝

一、ドイツ軍はセバストポリに對する猛攻の手をゆるめず同方面では目下激戰が展開中でソ聯軍は必死の反擊を繰返してゐるがいづれも失敗に終つてゐる

慣れよ親しめ皇國の言葉

＝人＝

◇岸勇一氏(總督府農林局林政課長)新任挨拶のため十二日來社

◇望月伸氏(總督府水力電氣課長)新任挨拶のため十二日來社

◇三好淑雄氏(同商工課經濟擔當役)同上

◇下野正雄氏(總督府農林局農政課長)十二日新任挨拶

暗の録音

太平洋の戰權のみに拘つて、大陸の作戰に無關心であつた者はゐないか。

×

黙々として聖戰をつづけ、着々として戰果を擧げつゝある皇軍に、先づ頭を垂れよ。

×

邁進するわが軍の威力を見よ。敵の宣傳の醜態を見よ。

×

それにしても、今度は米の周章狼狽、笑止といふも憐れ。

×

敵の落書きは塗りつぶし得ても、世界環視の敗戰は容易に隠せるものではない。

×

關釜連絡船は上乘。次は關釜間の日の來るを待つ。

燦たり海鷲の威力
北からの對日進攻路全く挫折
松永少將談　東太平洋作戰

【東京特電】輝しい戰果をあげた東太平洋作戰の持つ意義と將來の見透しについて代表松永壽雄海軍少將は次の如く語つた
アメリカの對日進攻路として唯一つ殘されてゐた航路も遂に叩かれた、夏來ると共にアメリカのアリユーシャン列島南方進攻は豫想されてゐた、而も一度その時期が到來したと見るや敵の機先を制し四千餘キロの遠距離を物ともせず打つて出でアリユーシャンを叩き
ミツドウエー附近では航母をやつつけたのだ、わが軍として唯一つ殘されに（中略）航母を斷つたなら假令萬一へても恐れるところではないのだ、航母があつても完全に日本の勝利だ、アメリカに殘る航母はレインジヤー共二隻位しかないと考へる、アメリカとしては商船を航母に改裝する以外に術はなくなるが商船では防禦力がない上に廿ノツトか廿五ノツトの速力で（中略）ちわが艦隊に追ひつかれるのか
（中略）艦の由だ、それではダツチハーバー使用出來るとして飛行機による日本攻撃はどうかといへばダツチハーバーから東京まで凡そ四千五百キロ、四月十八日飛んで來たノースアメリカン機の性能から見へといつは不可能だ、では空の要塞ならどうか、専ら防禦力に重點を置き装甲板等十ミリの厚い（中略）ものでしかも其上エンジンは打抜かれても油のもれないやう燃料防漏装置等あつて燃料の積載は犠牲にされ、公稱四千六百キロの航續力はぐんと低下してゐるからこれも不可能だ、數年前札幌からアラスカのノームまで四千三百四十キロを一擧に翔破した民間機日本號は爆彈の代りに世界を一周するに足るだけの八人分の荷物を積んでゐた
海軍機がこれ以上の性能を有つてゐることは想像に難くないだらう、卓越した作戰、旺盛なる攻撃精神、私はこの大作戰に勝はれた犠牲に對して唯々頭の下る思ひがする
米國がアラスカ一帶の空軍據點の建設に全力を盡してゐた實情からみて敵の施設は相當進捗してゐたものと思はれるのでその損害も甚大に上つてゐることは想像に難くない、これに對し皇軍が敵の機先を制して一擧に出鼻を挫いたその勞苦は想像以上のものがあるであらう、その戰果もさることながらさきのマダガスカル攻撃と同樣敵に與へた精神的打撃は蓋し大なるものがある、ミツドウエーの赫々たる戰果と相まつて眞に慶賀にたへない、今や帝國海軍の交戰區域は東西太平洋實に九千五百浬といふ廣大なるものであるから將兵の勞苦は察するに餘りある、在滿國民諸君は戰捷に驕らず絶對に海軍を信頼して各々職域奉公に邁進せられんことを望むのだ

出鼻を挫く
滿洲國人士談　アリユーシャン作戰

【奉天特電】十日午後三時卅分大本營から發表されたダツチハーバー急襲とミツドウエーに對する偉勲は一億國民に異常の感激と帝國海軍に對する感謝の念をいやが上にも沸きたたせ、特に北邊鎭護の重要據點たる滿洲にとつては重大關心を呼んでゐるが、この戰果發表の日たまく在滿海軍慰問のため來奉中の帝國海軍元老財部彪提督を宿舍に訪へば
『アリユーシャン作戰の戰果が發表されたか、それは愉快だ』と快哉を叫びつゝ次の如く語つた

征服せよ天候不順　さあもう一息だ
相川技師が語る〃豐作の虎の卷〃

さあ田植だ、植付だ、全鮮の農村よ、鰲甕半島の面目にかけ本年度の増米計畫二千七百萬石の目標額にゴールインしよう、南鮮からは初夏の涼風に乗つて豐作の前奏曲田植歌が聞えて來た、今年の苗は當局の指導と血の滲むやうな農民の努力によつて、充分な成果が揚り意想外に健かだ、さあもう一息だ、少しばかりの天候不順は努力で補つて、今年もまた明るい豐年歌を全鮮に歌ひまくらう、健苗が得られゝば、あとは植付に注意すれば豐作は半分以上約束される、では植付上の注意〃虎の卷〃を總督府農林局相川技師に訊かう
◇……大體朝鮮は五月の廿日頃から田植が始まり南鮮地方を最後に七月十日頃終る豫定であるが、苗は兎かく伸びない中に移植し適量の灌漑を施すことだ、移植に當つて注意すべきことは
◇……五月上旬頃の冷氣で一寸懸念されたがその後好天に惠まれて苗の成長は豫想外に順調である、大體において健康苗を移植すれば病虫害の抵抗力もつき旱魃にも耐へるわけだから苗代時の育成が一番大切でつぎに大事なことは移植取り置き苗を使用せぬこと、浮苗、腰折苗を移植しないこと等が移植後の活着を早め、分蘖を促進することになる
◇……天候の不順は農民の努力と我々の技術的指導で大體補へるつもりだが今月末ぐらゐに一雨あれば今年の米作は上々でせう

永へに〃日滿親善餅〃
奉へ赴く滿洲國鄭初代公使に
奉天が友情の誓ひ

【新京電話】滿洲國の初代公使として新生泰國へ赴任する前奉天市長鄭禹氏は見馴れた奉天を後に近く赴任するがこのほど同氏が濃く心殘りにしてゐた美しい挿話が明かにされた、それは今はなき滿洲の元勳、鄭禹氏の父前滿洲國國務總理鄭孝胥氏と親邦日本の武勳元帥とが滿洲建國當時固く結ばれた友情の形見として元帥の命日には滿洲から鄭禹氏の使ひが、また總理の命日には元帥の故郷から使節が佐賀と奉天とを往復し墓前にその名もゆかしい日滿親善餅が手向けられてゐたのだ、この紅白の親善餅は皇帝陛下へ献上される程のもので、日本の大政翼贊會でも報道精神として泰國への使ひはそれを紙芝居に收め日滿の國民に一億一心の精神を解いてゐるほどで、鄭禹氏は泰國へ使ひした後はどうしようかと氣にかけてゐたが、その心を察した多田奉天副市長は
『あなたが居られなくなつても日滿親善餅だけは奉天の大事な行事として永久に續けて行きます』
との友情に鄭禹氏もこれで泰國へ行つても心殘りなく兩國の親善に最善の努力を擧げることが出來ますとカラリと晴れ上つた思ひで赴任の日を待つてゐる

機械縫ゴム底靴に公定價
朝鮮産の屑革を利用した機械縫ゴム底靴に今度新に最高販賣價格が制定されることとなつた、制定された最高價格は短靴七文未滿より十一文以上の五種類に規格されその値段は▲七文未滿、一円五十錢（卸）一円八十五錢（小賣）▲七文―七文半、一円七十五錢（卸）二円十錢（小）▲八文―九文七分、二円（卸）二円四十錢（小）▲十文―十文（中略）二円五十錢（卸）三円（小）▲十一文以上、二円七十錢（卸）三円二十五錢（小）で編上短靴の販賣價格より各三割方高値となつてゐる、又製革靴は第一號品（十文以上）四円九十錢（卸）五円八十五錢（小）▲第二號品（同）四円七十錢（卸）五円六十錢（小）

敵七機と空中戰
丸山、上田兩機遂に還らず

【ビルマ○○基地十一日同盟】去る四月廿五日ビルマ北部ロイレン北方の敗敵を求めて勇躍○○を出動した丸山大尉機（中山曹長同乘）上田曹長機（曾良軍曹同乘）の自爆の模樣が判明した、この日ロイレン北方百キロモンクン附近の敗敵を求めて出動した丸山、上田兩機は敵の有力なる機械化部隊を發見これに果敢な銃爆撃を加へてゐる際、突如雲間から現はれた敵トマホーク七機の急襲を受け忽ち激烈な空中戰となり彼我入亂れて激闘中兩機の射手中山曹長および曾良軍曹は敵彈のため壯烈な戰死を遂げてしまつた、丸山大尉、上田曹長は戰友の仇とばかり固定銃を握つて銃身も燒けよとばかり射ちまくり敵戰機を敵地に叩きつけた、しかし兩機も機體に數十發の敵彈を浴び遂に力盡きシヤン高原に壯烈な自爆を遂げたのである
記者はその前日丸山機に同乘壯（中略）

白兵戰は世界一
射撃手と銃劍術に帝國軍人の生命がありその劍尖こそは大和魂の光芒である、徴兵制に備へる學園の實戰的訓練第一課にこの銃劍術がとりあげられたのは當然だ、満原中の高原に照りつける夏の陽は強烈だその眞上を法學生は猛りに猛つて突き進む、山坂から突落される者、我を忘れて敵に迫り體當りする者、こゝに體と體は激突して淋漓たる血は幾度か白岩をぬらす「突撃だ突撃だ」自ら陣頭に立つた増田校長は寸刻をも訓練の隙を許さない【寫眞＝法學の銃劍術山間訓練】

殆んど休暇なし
聖汗する學生の夏休み

大東亞戰下に卒業期繰上げまでを（中略）學校を（中略）を約十日程度に短縮し卒業期繰上げによる不足時間を休暇中に取戻すこととなり、男子實業學校卒業學級は午前中を學習に、午後を學科に振り向けて中夏無休暇となつた、卒業期でない一般男子學生は學校單位に適宜銃後奉仕に當るが、國民奉仕としては北漢山、三角山を縫ふて新設される道路の工事に奉仕し、女學生は軍需工場方面の下働きをはじめ軍用物資縫などの奉仕作業に若い聖汗を流すこととなり、ここに全半島十四萬の學生は臨戰下に相應しい夏季休暇の設定を踏み出さうとしてゐる

全日本兼東亞陸上競技大會
【大阪電話】日本陸上競技聯盟主催第廿九回全日本陸上競技選手權大會兼東亞競技大會陸上豫選大會は來月十一日午後一時、十二日午前九時の兩日甲子園競技場で男子廿四種目、女子十三種目を擧行するが、希望さへあれば一人何種目でも出場出來ることになつてゐる
▲種目（○印は選手權のみ）
◇男子の部　百、二百、四百、八百、千五百、五千、○一萬、○マラソン、百十米障碍、四百米障碍、○三千米障碍、○四百米繼走、○千六百繼走、走巾跳、走高跳、三段跳、棒高跳、砲丸投、円盤投、槍投、鐵槌投、○五種競技、○十種競技
◇女子の部（全部選手權のみ）六十、百、二百、八十米障碍、四百繼走、八百繼走、走巾跳、走高跳、砲丸投、円盤投、槍投、短棒投、五種競技
なほ參加希望者は各地域協會と問合せの上六月十七日迄に申込むこと

〃大場所〃を彷彿
相撲展に人氣沸く

戰捷下國技の粹を競つて終業の京城に開かれる大相撲朝鮮夏場所に先立ち十二日京城丁子屋四階催場を會場に幕を開けた本社主催大日本相撲協會、同朝鮮本部、朝鮮國防航空團本部、朝鮮軍事普及協會、機械化國防協會朝鮮本部後援の「國技の華、相撲展覽會」は場がる府民の人氣に應へて
肉太い勘亭流の筆勢が隨所に眼を射る、會場せましと設けられた本物の土俵に玉錦、双葉山の力闘人形が來る大場所を彷彿させて詰めかけた觀衆の視線を集め、また世界に類例のない國技相撲道の精神を古式相撲の歴史から說いた圖表は尚武の國日本相撲の變遷を繪で解說して觀衆の相撲認識を啓蒙してゐる
豪華絢爛を競ふ横綱化粧廻しで常陸山、双葉山、綾櫻たちの晴れの土俵姿を偲ばせ、歴代横綱の手型中、前場所限りで引退した男女川の特に大きな手型に今更に驚異の眼を瞠る觀客など……、相撲展は朝鮮夏場所の人氣をさらつて開場早々大賑ひだ【寫眞＝相撲展覽會場、双葉山對玉錦の大取組人形】

信用貸なら五千圓
商工業者に特別金融

時局の影響によつて轉廢業または業務休止を餘儀なくされた中小商工業者の資産および負債整理を促進し、併せて業者の更生をはかる目的のもとに過般實施された更生金融制度にもとづく中小商工業者に對する小口金融は、釜山、平壤をはじめ馬山、晉州、統營、鎭南浦の各商議において既に實施され好成績を收めつつあるに鑑み、朝商附設の中央商工相談所では、右小口金融制度をさらに普及徹底せしめて業者救濟に遺憾なきを期するため、今回商銀とタイアツプし小口金融と併せて中小商工業者に對する特別金融を積極的に斡旋することとなり、來る廿五、六の兩日京城商議で開かれる金融商工相談所連絡會議において右に關する具體的協議打合せを行ふことになつた、この特別金融は信用貸最高五千円で擔保貸同一萬圓で商銀の自己資金を貸出すが、中央商工相談所では右特別金融の運用に萬全を期するため、業者の經營ならびに信用狀態を常時積極的に調査しこれが調査資料を商銀へ提供することになつてゐる

松本伍長
無言の凱旋
【（中略）】昭南島附近で護國の華と散つた邑出身松本伍長の遺骨は嚴父松本貞治氏外官民に護られ八日（中略）邑を通過したが、邑では自動車部内に祭壇を設け官民代表は焼香をなした

東條さん勤勞訓練所を激勵
【東京電話】東條首相は十一日午後東京府南多摩郡小平村小川の東部公民勤勞訓練所を訪れ、新しく産業戰士として巣立ち行く八百餘名の訓練生を激勵した、午後二時勤勞國民服の背廣に灰色のソフト姿の東條さんは秘書官四名を從へて同訓練所に到着、所長佐枝義重陸軍中將の案内で同訓練所廣場でまづ訓練生の合同體操、集團行進を視閲、教練武道等の各種訓練や寮舍を巡視して相變らずの温情振りを發揮した『選手の體はこんなにするのだ』と日本一の模範教練をして見せるやら、訓練生の最高年齡者吉川金太郎さん（甲府出身元豆腐商）の肩をたゝいて『五十八歳ぢやまだまだこれからだ、しつかりやんなさい』と勵ますなど、また案内の事務室では訓練所員の求職票を一枚々々熱心に目を通し、自分で書いてやる位の氣持で書いてやれと役人根性に一撃を加へ巣立ち行く所員の職場にまで深い思ひやりをこめた、所內を一巡した首相は講堂で約十五分間左のごとき訓辭を興へ同三時所員一同の見送りを受けて引あげた
首相訓辭　現下の大戰爭を戰ひ拔く爲には雄渾なる作戰に相呼應して國內でも國家のあらゆる力を戰爭目的に集中せなければ（後略）

バンダ群島の兩島掃蕩記

『日の丸』のお出迎へ

和蘭潰滅に躍り上る原住民

【アンボンにて十一日杉本海軍報道班員發】わが海軍特別陸戰隊は五月八日未明、アンボン東南約百三十浬のバンダ海の中央に臨むバンダ群島のバンダネイラ島にさらに翌九日にはアンボン東方約三十浬のハルク島にそれぞれ奇襲上陸を敢行直ちに両島を占據したのち宣撫その他の建設的工作に着手した

バンダネイラ島

美しいとうたはれるバンダ海の中央に點々と位してゐるバンダ諸島のうちバンダネイ（南北一キロ東西四キロ）はモルッカ諸島のテルナーテと並んで比類なき景勝と天然の要害の地である、標高一千メートルに近い富士山に似たゲノアピ火山が

＝柔かな裳裾＝ で古い町を靜かに抱きその滴したゝるばかりの山蔭は灣内に投影を映してゐるまるで『緑のダイヤ』を見るやうである、灣口を迂回して灣線まで來ると原住民たちは日の丸の旗を掲げ、腕には日の丸の腕章を巻い

南洋でもつとも平穏

て歡呼しながら出迎へてゐる、四百年來戰火を忘れ平和に眠つて來た島民たちはいま町内を颯爽と堂々行進する陸戰隊勇士に心からの歡迎をしてゐるのだ、占據前といふのに民家の軒々には日章旗が掲げられてゐる、これはインドネシヤ獨立運動に敗れてこの島に流謫された原住民たちが和蘭の潰滅を知つて喜びのあまり過ぐる天長節に用意して掲げたものであつた、民家の壁は白壁はいづれも苔むしてゐる、町の中央海拔約五十メートルの地點には砲壘があり低く道路に面したところには石で築いた出城が昔のむすまゝに任せ

＝大きな字で＝ 『一六一七年』と浮彫りにされてゐる、一六世紀にアフリカの喜望峰を越えてはるばる數千浬の遠洋を香料貿易獨占のため長驅したポルトガルが此地に總督まで置いて制覇せんとしたのがもろくも當時の新興海洋國オランダに敗北を喫したのだ小高い丘の城砦は約二十段ばかりの階段を昇つたところに建てられてゐる

＝コタラマ城＝ といひ約四百年前の築造になるものである、掃蕩の結果は農園關係のオランダ人家族計二十名を收容したのみで敵影は勿論兵器その他も全然なく連絡の無電所施設は開戰直後の昨年十二月オランダの軍艦が回航して全部破壞してしまつたとのことであつた、掃蕩後の原住民に對する諭告は海岸に面した廣場で行はれた、何處から聞いて來るのであらうか、山の麓から町の外れから人口約五千の原住民たちの大部分が續々集まつて來た、わが宣撫班は並居る原住民たちの前で諄々と聖戰の目的と協力の必要を說いた、一息切れて息つく間に聽衆は『わわーわわー』と聲を揃へる

＝贊同の歡呼＝ をあげ力強く應へるのであつた、宣撫を終つても廣場を離れようとはせず潮鳴りにも似たどよめきをあびせる彼らであつた

ワンピース姿の女村長

怨ち深める皇軍への理解

ハルク島

アンボンの東方三十浬にあるハルク島（周圍六キロ）は回教徒の信者で固められてゐるが、この島の主要部落ハルク村、オマ村、レコモミ村の三部落のうちレコモミ村は村長以下少數の部落民が固く回教を信じて容易にキリスト教に轉向しないため十數年來ハルク、オマ兩村と宗教上の爭鬪が續けられ、殊にオランダとのこの衝突が激化して島内は不穏を極めてゐた、同島に近接するアンボンが去る一月三十一日皇軍に占領されてからも一向に騷擾の模様なく過ぐる天長節當日はレコモミ村長が日章旗の掲揚方を布告したのに對して、ハルク村はこれを

＝最後の日が＝ 近づく頃に快く承諾して皇軍に協力を示したが、何故かオマ村だけは肯んじなかつたのであつた、島内安定のためわが陸戰隊は九日未明を期して同島西側ハルク村と南端のオマ村を挾撃したのである、ハルク村を目指すわが主力は眞暗な暁を利してハルク東海岸に上陸した、砂濱を横切ると前方は一面の椰子の林であり珊瑚礁が怪奇な姿で立ち塞がつてゐる、殆ど人も通つたことはないのであらう、一面の蔓が背中を埋めるばかりに繁つてゐる、懐中電燈で前方を照しながら急勾配の山道を登る○○部隊長は上海戰の壯烈な市街戰で左足を斷ち國かれた

＝不自由な足＝ でありながら闘志ははち切れるばかりの健脚を發揮し先頭を切つて部隊を指揮するのであつた、部落に這入るややがて村長が現れた、南洋では珍しい女の村長である、髪のちぢれた眼の大きいワンピースを着てサンダル靴を履いた女性であるが流石に二千に近い村民を牛耳つてゐるだけあつて勇猛な表情で驚きなどは微塵もない

この女村長はアナ・ヤクミナ・マナサマ（五〇）といひ獨身だが、家が歴代村長を勤め實兄がオランダ政府に使はれてバタビヤにゐたゝめ父の遺言で村長に命ぜられたといふ、彼女の下には助役、收入役などにあたる老練の吏員がゐて村政を司つてゐるが、村民の話では他村に對しても負けを取らぬだけの治績を擧げてゐるといふ、わが部隊長はこの村長に

＝皇軍進駐の＝ 意義を說いたところ即座に歸順を誓つた、この結果島内には討伐前のやうな不穏の空氣はなくなり日一日と急速に皇軍への理解が深められてゐる

チーク材の伐採や刈入れを急ぐ住民達

＝復興の姿逞しジャバ島＝

【スラバヤ十二日同盟】東亞使の戰塵收まつて早くも三ケ月ジャバ島復興は皇軍の指導下にいよいよ逞しく進捗しつゝある、以下東部ジャバの近況二つ三つ

稻 ブランタス河に灌漑される東部ジャバ、スラバヤ、マラン、ベスキの三州はジャバ全島の穀倉である、熱帶の陽光と肥沃な土壤に恵まれ稻田はいま一面黄金色に波うち原住民の農夫たちがこの平和な風景の中にせつせつと刈入れにいそしんでゐる、敵國軍が破壞した精米工場も今は全く復舊し續々と集つてくる籾の精白に大童な活躍をはじめた

甘蔗 ベスキ州中部のヂュンベル平原は美しい高原地帶で廣漠たる農園には到るところ果實、カポツク、甘蔗が豐かな稔りの姿をみせてゐる、特に砂糖はジャバ島の全産額の七割までを産するといふだけに一面の甘蔗畑には茶褐色の甘蔗、黍を滿載したトラックが日の丸をはためかせながら縱横に走つてゐる

チーク 東部ジャバのマヂウン州は『マヂウン・チーク』の名で世界に知聞れたチーク材の主産地で樹齡五十年を閲したチークの巨木が亭々として空を摩してゐる、敵國軍はこのチークの密林を伐り倒して皇軍の進撃の路を塞がうとしたが今はすでに戰火の跡形もなくすでにチークの伐採もはじめられてゐる

鹽 マヅラ島の東南部マヅラ海に臨むカリアンゲ灣は島内唯一の鹽業地である、乾燥期に入つて製鹽は活氣を呈し廣漠たる鹽田では一千餘名の原住民たちが海水汲みに懸命であり灣には精鹽を運ぶジャンクが帆を南風に孕ませて長閑な風景を繰り展げてゐる

タイ情緒の新發足

戀のウイサーカ祭り

タイで一番樂しく待たれるのがウイサーカ・ブリヤのお祭りである、毎年陰暦六月の滿月の夜開かれ佛陀の誕生、涅槃と共に悟道に入つた日といはれ、今年はそれが五月廿九日からはじまつた、國をあげて佛徒のタイでは佛事即ち國事で、第一日の儀式は攝政會議主宰の下に王立寺院ワツトプラケオで開かれ高僧に稱號、位階が贈られ、僧の階級をあらはす團扇が王家から寄進される

翌日はウイサーカ祭りだ、この日の儀式は全國のお寺といふお寺で催され中でもワツトプラケオでは皇族方も說教を聽聞される、やがてやきつける太陽が沈み熱帶の魅惑といはれる微風が爽やかに流れる頃、ワツトプラケオでは燭をかゝげて攝政以下高僧達がお堂の周圍を三度廻る、これがこの夜の本行事であるがこの夜はまた戀の夜でもある

高官が寄進した數知れぬ燈籠が下げ連ねられた下を着飾つた娘達が夜も更けるまでさゞめき歩く、この夜ワツトプラケオのエメラルド佛に誓はれる婚約の如何に多いことか

今年のウイサーカ祭には式典の他にタイ最初の僧侶會議が開かれタイ佛教界に革新第一歩をふみ出した、タイ佛教の中でタマユツト派とマハーニー派は同じ小乘佛教であるが、戒律に輕重があり永い抗爭の歴史をもち、これがタイ佛教界の癌であつた、革命後パホン内閣時代にこの根本解決策として佛教に關する立法があり、攝政會議によつて今回初めて會議が召集され、ピブン首相以下全閣僚出席した

【寫眞＝上がウイサーカ祭り、ワツトプラケオに集る善男善女達、下＝僧侶會議議總團扇で顔をかくすやうにするのがタイの習慣、向う側に着席してゐるのが閣僚達】

文化

開拓地歸還報告

張赫宙

在内地の半島人が、一途に己れの皇民化に努力してゐるのに比べれば、朝鮮の半島人には彼等の氣持の上に多大の紆餘曲折のあるのは見逃せないが、結論的にはこれも完全な日本人になるための努力であることには變りないのを見て私は安心した。

だが、滿洲のことに奥地の開拓村の人々はどうであらうか。かういつた疑問を開拓地を見るまでは私は拭ふことが出來なかつた。過去の在滿半島人の思想上の動向が今なほ私の心に暗い殘滓として殘つてゐたからである。

ところが、新京から二つ目の停車場の米沙子といふところから四里ばかり奥へはいつた萬寶山部落の國民學校の校庭で、そこの農務機關合會の理事のくるのを待つてゐる間、私はふと、小さい黒板に眼を止めた。

徴兵令が施行されました。私共もりつぱな兵隊になる準備を致しませう。

このやうな文字を讀んだとたんに、私の疑ひは一ぺんに吹つとんでしまつたのだ。萬寶山部落の人人は、日本の實力の有難さを血と共に彼等の腦内に大事にしまつてゐるのである。

公主嶺から十四里ばかり奥へはいつた懐徳開拓村でも、青年訓練所長金島猛甲君の問はず語りに物語るいろいろな話を聞いてゐる中、私は既に既に完成された一人の日本人を見たのだ。

ある者は自分たちのそのアルカリ性水田を沃土化するためのプランを持つて來て、そのためにかういふことがしたい、あれが欲しいと、私に說明したりした。

私はそれを開拓出張所長に取次いだが、今一つ讀者諸君に訴へたいことがある。

榮興農村のやうな、恐らく全滿一、いや日本一の完備された設備のあるところや、ほかの開拓村のことはこの文章では割愛することにして、懐徳のやうな奥地開拓村の人々が當面してゐる一つの悩みについて語りたい。

それは衣類の問題である。一言にいへば、彼等はもう着るものもない狀態である。滿人と違つて、開拓村のことに南滿の人々は入植當時あまり衣類の用意がなかつたのである。外出に着るチマがなくて學童は下衣がなくて缺席し、男は野良へ出るのが臆怯になるといふ

『畫に、着物がぴりぴり裂ける度に、氣がひるみます。着物の心配さへなければ、うんと働きますが……』

彼等はかういつてゐた。

つまり彼等は滿人と同じだけ配給をうけてゐるので、それでは間に合はないといふのである。

『これは産米增殖にも影響する』

私はさう思つたのである。

だが、配給機構を今すぐどうすることは出來ないのである。彼等も鹽やマッチの不足はいくらでも辛抱するといふ。ここで私は讀者に提唱する。全鮮の各家庭から衣類（不用、不急でよい）を一點以上醵出して、開拓地に慰問品として送出してもらひたいのである。これを國民總力聯盟あたりでやつてもらへないだらうか。

女學生と國語　培花高女の巻

極めて自然に　鮮語は不便な位

『學校では嚴しい強制的な方法はとつてゐません、さうすればかへつて悪影響を及ぼし校外などに出ればこれで解放されたと安心してしまふやうな恐れもありますし、それよりも國く自覺的に進んで國語を常用させるやうに督勵してゐます』と培花高女の教務主任先生が述べてゐる通り生徒の中で朝鮮語を使用する者はこれを學級日誌に記して統計をとり、お互ひに直し合ふやうなやさしいやり方によつてゐるため、最近では以前に比べてすつかり國語に慣れて、朝鮮語の方が不便で困まりが悪いと生徒がいつてゐる

京日歌壇　吉井勇選

京城　裵今福

つひに今日徴兵制はしかれたり大御心に涙こぼるゝ

同　篠生

名も知らぬ軍事郵便は達筆に慰問袋の禮書かれゐぬ

同　渡邊貞子

クリークに一晝夜浸り居たりてふ記事に泣きつつ讀み返す吾は

同　安部榮資

灯を消したる部屋にさしこみし月のひかりにかたち正すも

同　若林春子

しんとしてみな默し居り釜の湯の音に利休のこころ思はむ

大邱　二宮登志子

一人居のさびしきまゝに開きたる古き日記のなつかしきかな

全南　ふみ子

朝鮮の言葉知らねば女らと親しみがたき淋しさにゐる

文化だより

◇『水砧』六月例會十三日（土）午後六時卅分から京城府北米倉町銀行集會所で開催、題『青鳥』『夏の蝶』

不連續線

行列者へ

この頃、パン屋の店頭に行列を作つてゐる人の群を見る。然も、その中に半島婦人がまじつてゐることに不思議はないとしても、おいて國語を解せず、たゞわづかに『パン』といふ言葉と『ならぶ』といふ言葉だけしか知つてゐないといふ者が多いと、あるパン屋から聞いたことがある。

結局、必要が彼女等にそれだけの言葉を覺えさせた譯であるとすれば、更に、隨時に關する數量の呼稱、應對についての簡單な言葉にまで及ぼし、國語常用者に優先權を與へるといふ風にしたら、案外、國語が日常生活に自然に滲み込んで行くのではないだらうか。

本社寄託金

十一日迄拔ひ

國防獻金（陸軍）

▲七十五円 京城府黄金町二丁目一四三 高尾庄吉▲五十七円卅六錢京城府三坂通一〇三 みつる食堂▲五十三円廿二錢 京城府永登浦町永登浦青年隊北部分隊一同▲五十円京城府東崇町二荒木英次郎▲四十九円十九錢濟川青年隊延禧分隊一同▲十円黄海甕津郡鳳鶴公立國民學校五、六學年兒童一同▲八円五十錢黄海道平山郡西峰公立國民學校第四學年兒童一同▲二円九十三錢京城府帑樂津驛前朝鮮コルク工業所宮本大吉▲二円江原道襄陽郡東草面外翁峠里光本野太郎

國防獻金（海軍）

▲八十円京城府黄金町五丁目八一愛國婦人會黄金町五丁目分會一同▲七十五円京城府黄金町二丁目一四三高尾庄吉▲五十円黄海道汗浦驛前田島榮太郎▲五十円仁川府本町二丁目朝鮮中央無盡株式會社仁川支店職員一同▲五十六円四錢仁川公立商業學校職員、生徒一同▲三円十七錢京城府長谷川町九一園丘町會第二區第三班一同

【日計】金六百二十二円四十一錢也

【累計】金七十四萬九千一円六十六錢也

皇軍慰問金

二百圓 京城府龍山町二丁目五龍吉▲四十八円二十錢京畿道楊州税務署親和會一同

【日計】金二百四十八円二十錢也

【累計】金十七萬三千七百四円八十四錢也

鮮内防空監視隊

累計金一萬七千四百十四円十錢也

九軍神顯彰金

五十四円平北楚山郡古場公立國民學校兒童一同累計金二千五百卅四円十八錢也

總計金九十四萬一千六百五十四圓七十八錢也

三國志 【826】

（赤壁の巻）

吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

酒中別人（二）

『わが君。何を無言に鬱ぎこんでをられますか』

『今こゝで倶に酒をのんでゐた高沛、楊懷がもう首になつたかと思ふと、餘り快い氣がしない』

『そんなお氣の弱いことでよく今日迄、百戰を経ておいでになりましたな』

『戰場はまたちがふ』

『ここも戰場です。まだ涪水關は占領してゐません』

『高沛、楊懷が供につれて來た三百の關門兵はどうしたか』

『そつくり捕虜にしてあります。肴を喰らはせてゐるので、彼等は狂喜してゐる樣子で』

『なぜ擒人の兵にそんな馳走するのか』

『黄昏迄歡樂させておきませう。その後、彼等を用ひる一計がありますから』

龐統が小聲に何かさゝやくと、玄徳はうなづいて妙案々々と呟いた。

日の暮るゝ迄、幕舎のまはりでは、歌曲の聲が沸き、時々歡聲があがり、酒宴は熄まずに續いてゐるやうな態であつた。

『星が出た』

一吹の角笛と共に龐統は一軍をあつめて、徐々、涪水關の下へ近づいて行つた。

先頭には、捕虜の關門兵三百を立たせてゐた。この者共はもう完全に寢反つて、龐統の薬籠中のものになつてゐるらしい。頑丈な鐵門の下に立つてから呶鳴つた。

『楊將軍、高將軍のおもどりであるぞ。開門々々』

靈閣の出來事は何も知らない關門の番兵は、聲に應じて〆と、扉を十文字にひらいた。

『おゝうツ』

『すゝめツ』

喊聲をあげながら、怒濤の兵は關内へ突入した。殆ど一滴ずに、涪水關は占領された。

玄徳は直に諸軍をわけて、要塞の部署につかせ、

『蜀すでにわが掌にあり』

と、三度の凱歌をあげさせた。山谷のどよめく中に、陣中の酒は開かれ、將士は祝杯をほしいまゝにした。

玄徳も晝から酒に親んでゐたので、夜半から曉にかけて、幕僚の將を會して杯をかさねると、泥のやうに醉つてしまつた。

大きな酒腑に兎れて、彼は前後も知らず眠り始めた。ふと、眼をさましてみると、龐統はまだ獨り殘つて痛飲してゐる。

『まだ、夜は明けぬか』

龐統は笑つて、

『とうに小鳥が囀つてゐますよ。どうです、もう一獻』

『いや、夜が明けたら、酒どころではない』

『でも、人生の快味は、かういふ時ではありませんか』

『さうだ。ゆうべは實に愉快だつたね。酒を飲みつゝ一城を奪つたやうなものだ』

『ヘエ、そんなに愉快でしたか』

と、龐統は例の、ひしげた鼻に皮肉な小皺をよせて、

『一人の國を奪つて、樂みとするのは、仁者の兵にあらず、あなたらしくもありませんな』

玄徳は醉後の顔を逆さまに撫であげられたやうな氣がしたのだらう。憤つとした色を作してすぐ云つた。

『むかし武王は、紂を討つて、初めに歌ひ、後に舞つたといふ。武王の兵は仁義の兵でなかつたか。ばか者ツ、退け』

龐統は恐れをなして匆々に退出した。

玄徳はまだ醉つてゐたとみえる。左右の者に介添されて、漸く後堂の寢所へはいつた。

大睡の後、眼をさまして、衣を更へてゐると、近侍者から、

『今朝ほどは、大へんな御機嫌で、さすがの龐統も、顔をちゞめて引退がりましたよ』

と、醉態を語られて、

『えつ、そんなに彼を叱つたか』

と、玄徳は急に、衣を正して、龐統をよんだ。そして、醉を詫びうして、

『先生、今朝の無禮は醉中の不覺、ゆるしてください』

と、いつた。

龐統は耳の無い人間みたいに默つてゐたが、玄徳が重ねて詫びると、初めて口を開き、

『君臣ともに、醉中の浮魚。戯歌水游、みな酒中のこと。酒中別人です。わたくしの皮肉もお氣にかけて下さるな』

と、共々、手をたゝいて、朗かに笑つた。

新刊紹介

▲科學知識（六月號）▲支那時報（六月號）▲新作家（六月號）▲青年作家（六月號）▲若草（六月號）▲棋道（六月號）▲開拓（六月號）▲常會（六月號）▲滿蒙（六月號）